

自治基本条例の推進に関する事前意見

(記述者 7 名)

Q1. 自治基本条例は市民に周知されていると思いますか？

はい 0人

どちらでもない 2人

理由：

- ・ 周知されているとはいえないが、組織の中では、利用して読みあっているところもある。

いいえ 4人

理由：

- ・ 知る機会が少ないと思う。
- ・ 自治基本条例のことを耳にする機会がない。
- ・ 文章が理解しにくい。範囲が広い。

Q2. 市民自らが考え、行動し、決定する「市民自治」を進めるため、どのようなことが必要だと思いますか？（自由記述）

- ・ この5年間に「市民自治」は、進んでいると思う。今回、施行後の取組の冊子を読み、状況がよくわかった。具体的に文字や数字で示されると自治基本条例が何かがよくわかる。時々、広報などで状況を知らせるとよいのではないか。5年も経つと、自治基本条例について忘れていくように思える。
- ・ 会議や催しをする際の参加者の動員の方法を考える。自発的に参加するのが望ましいが、交通の問題もある。いつも同じ顔ぶれになる。CATVの活用（視聴覚障害者のためにも）
- ・ 市民の中で考え、行動する人や推進する力のある人が少ない。
- ・ やさしい言葉や活動の実現ができない。
- ・ 市民間で話題にしたり、会を持つことがすぐにできない。
- ・ もったいない条例だと思う。
- ・ 市の行政にこの条例を活用することが肝要である。
- ・ 各自治会、各まちづくり推進会と協力して宣伝することが大切である。
- ・ 年に数回、確認や周知する機会を設けること（行政サイドから）
- ・ 市民が自治基本条例に基づいてまちづくりが行われていることを自覚できるシステムを構築する必要があるのでは。（市民が参加できる）
- ・ 日本の歴史の中で、政治は君主のするものという意識が根底にあり、浸透するまで時間がかかると思う。憲法のように、何か行動する際に基準となることを望む。首長が変わっても、大切に続けることが大事だと思う。
- ・ 自治基本条例の内容に基づいて、新しい施策が行われることが遠回りでも一番の早い方法だと思う。
- ・ 市民として、これをきっかけに市政に関心を持ち続けるようにしたいと思う。